

工程管理

一般社団法人 建設情報化協議会
建設マネジメントフォーラム

3

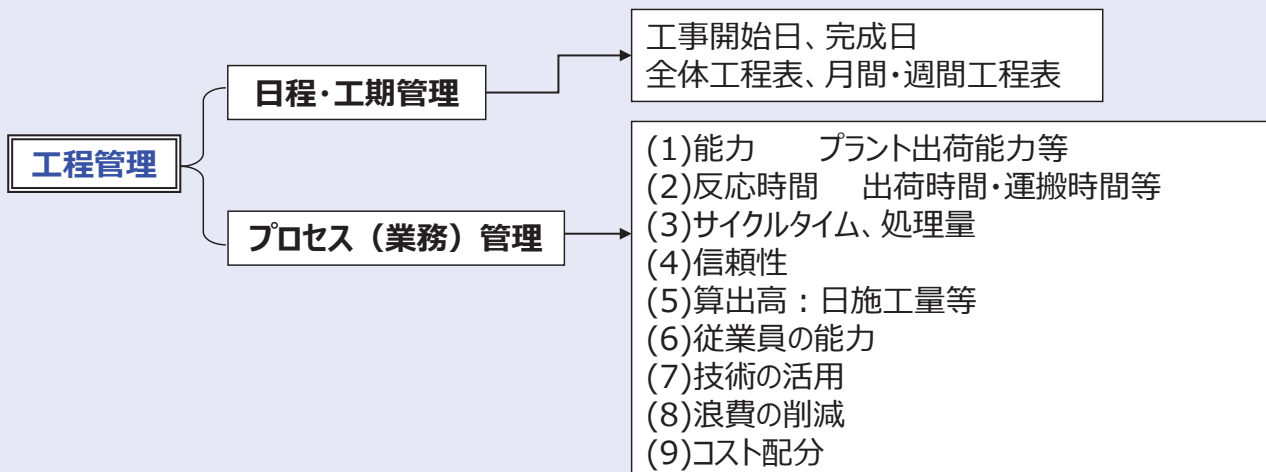
● 工程管理

(日程・工期の管理、プロセス管理)

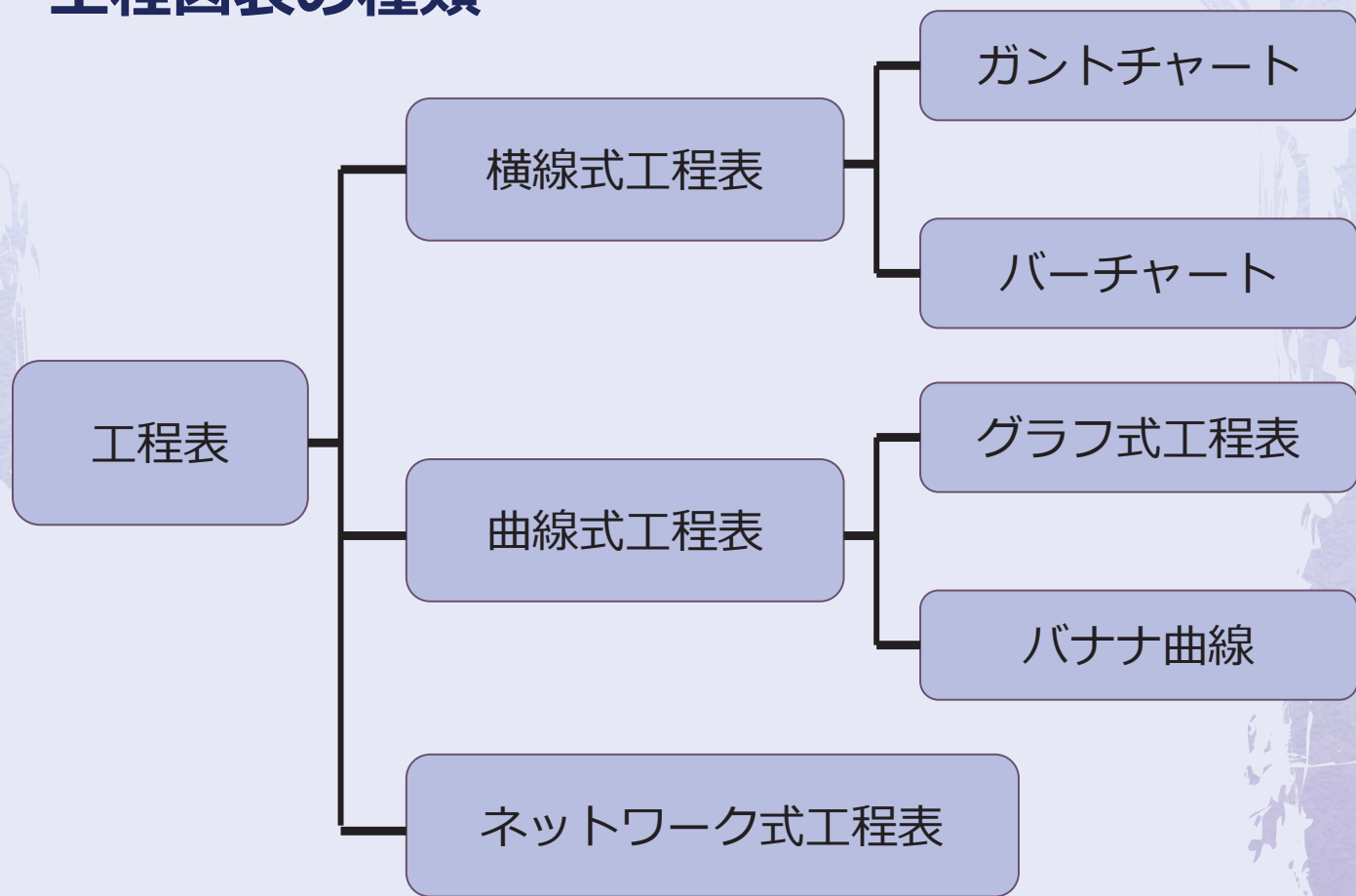
前項で、「損益管理」について述べましたが施工計画・実行予算を守って利益を生み出していく最大の項目が「**工程管理**」といっても過言ではないでしょう。

工期管理がうまくいかない場合には遅れを挽回するために計画以上の資源を注入しなければなりません。その結果は**利益**にも多大な影響が出ます。突貫工事にでもなれば注意が回らず、事故が起きたり、品質管理もおろそかになって手直しが発生したり、結果的には「工事成績評価」にも影響します。

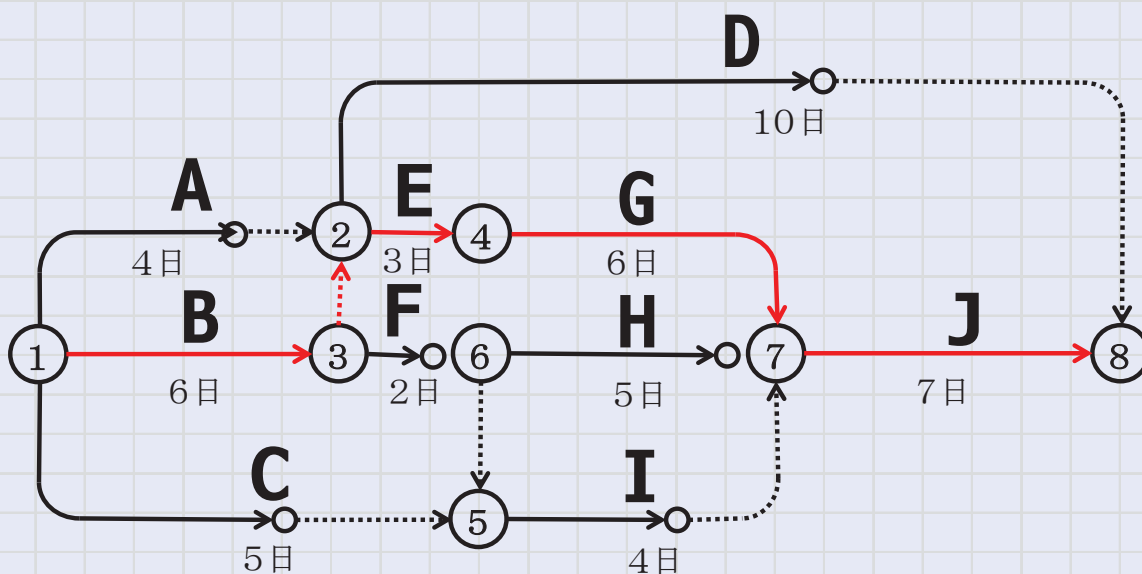
しっかりと工程計画が立てられて、計画に基づいた管理がなされることこそ、施工管理の最重要課題です。そのことを十分認識した研修が必要です。



工程図表の種類



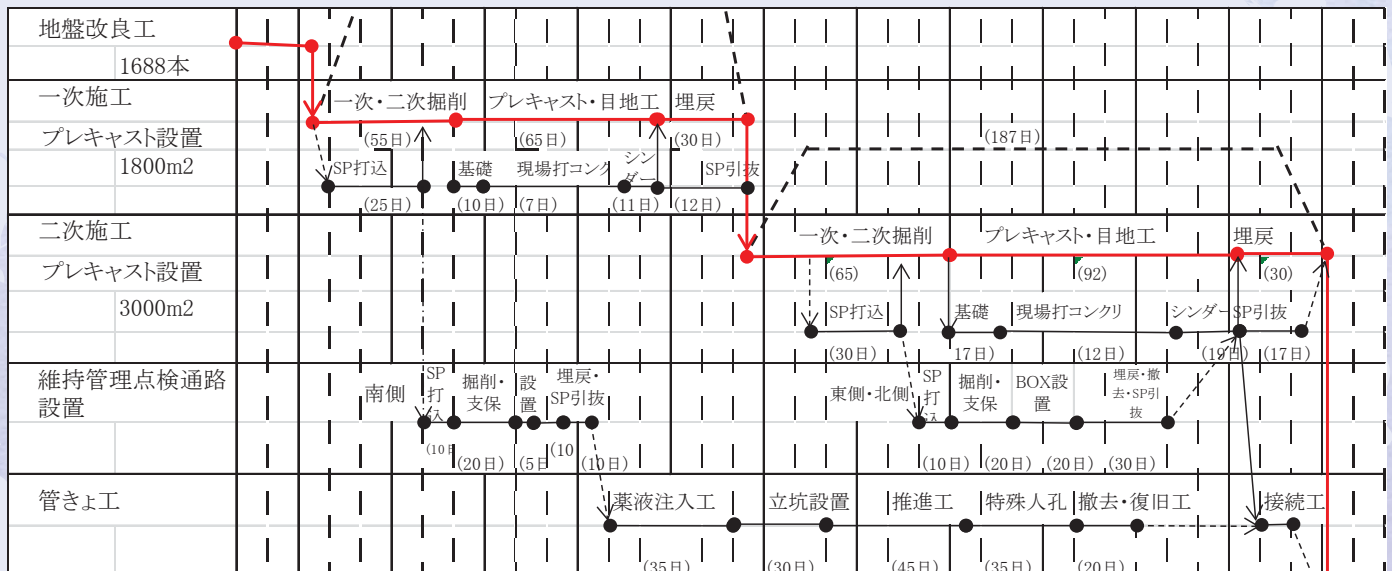
前ページの工程表に疑似矢線（ダミー：フロート：余裕）を入れて描画してみる。ダミーのない線をたどっていけばその線がクリティカルパスとなる。
⇒計算は一切必要無い。



フォローアップの留意事項

- ◆ 計画との調整
- ◆ アクティビティ, ダミー, 所要日数の変動, 新アクティビティの発生, 整理などによる現状を把握し, その対策を立てる。
- ◆ クリティカルパス, フロートの変化による弾力的管理運営
- ◆ 工事進捗の把握
- ◆ プロジェクト完成への影響を検討
- ◆ 打つべき手段が有効かについての判断
- ◆ スターティングプランの見積り値の修正
- ◆ 設計変更への対処

ネットワークに近いエクセル工程表



- ◆ ネットワーク工程表の手法を入れれば、十分対応できる。
- ◆ 一本のバーで引いたものを細かく分ける。
- ◆ 各工種間の関係も記述出来る
- ◆ 最低限このスタイルでは描きたい
- ◆ フォローアップして工程が変更になると、最初からの書き直しになる
- ◆ 専用ソフトを使えば、工程変更には柔軟に対応できるので、フォローがしやすい